

## 2007年度 定例総会議事録

表記の総会が、2007年5月24日(木)17:10より東京工業大学大岡山キャンパスにて開催され、下記の議案が承認された(委任状92)。

### I. 2006年度事業報告(2006.4.1~2007.3.31)

#### 1. 概況

2006年度は、田栗正章会長、鎌倉稔成副会長をはじめとする15名の理事、ならびに岩崎学、三輪哲久監事の体制で活動した。

財務状況については、会費滞納者分が増加傾向にあり、一方、事業関係は予定通り遂行されているので、繰越金が減少傾向にある。今後は、未納率を減らす努力をすると共に、長期的な視野に立った計画を考える必要がある。

会員数は2007年3月31日現在、正会員584名、学生会員24名、賛助会員5社、機関・団体購読は53件である(昨年度は、正610、学25、賛5、機・団54)。

#### 2. 総会の開催

総会を2006年5月27日(土)に国立保健医療科学院で開催した。

#### 3. 評議員会

2006年5月27日(土)に定例評議員会を開催し、総会に付議する事項等について審議した。

#### 4. 理事会

2006年6月14日(水)~6月21日(水)、7月11日(火)~7月18日(火)、8月10日(木)~8月21日(月)、9月5日(火)、12月20日(水)~12月26日(火)、2007年1月10日(水)~1月16日(火)、2月5日(月)~2月12日(月)の計7回開催し、学会の運営に関する事項について審議した。電子メールを用いた理事会を増やすことにより機動的に対処し、審議内容を要録として学会誌およびホームページに掲載した。

#### 5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.35のNo.1, 2, 3を発行した。Vol.35の掲載原稿は、特集2編、研究論文3編、統計計算1編、総合報告1編、覚え書2編、その他2編で、総計212頁(昨年193頁、一昨年298頁)である。

#### 6. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。

##### (a) 優秀論文賞

中村永友, 上野玄太, 樋口知之, 小西貞則「欠損混合モデルとその応用」, Vol.34, No.2.

##### (b) 奨励論文賞

藤井亨, 小西貞則「ウェブレットによる関数データ判別」, Vol.34, No.3.

#### 7. 統計関連学会連合大会

2006年9月5日(火)~8日(金)に統計関連学会連合大会を東北大学(仙台市)で開催した(応用統計学会・日本計量生物学会・日本統計学会主催、日本行動計量学会・日本計算機統計学会・日

本分類学会協賛)。本学会としてはこの連合大会を年会とした。

企画セッション(15セッション)、一般セッション(44セッション)、コンペティション(8件)、チュートリアルセミナー、市民講演が行われた。大会参加者は826名(内、会員516名、学生179名、非会員131名)であった。また、チュートリアルセミナー(参加者231名)が行われた(昨年度は大会参加者が729名、チュートリアルセミナー参加者が205名)。

#### 8. シンポジウム

第28回シンポジウムを2006年5月27日(土)に国立保健医療科学院で開催した。テーマは「応用統計学の起点と21世紀における展望を探る—学会設立25周年の節目を迎えて—」で、特別講演3件、一般講演9件の発表があった。シンポジウム参加者は90名(正会員(含協賛学会員)61名、学生会員11名、非会員18名)であった(昨年度の参加者は114名)。

#### 9. チュートリアルセミナー

2006年5月26日(金)に「観察データからの因果分析—共変量調整の立場から—」をテーマに国立保健医療科学院で開催した。講演は、狩野裕氏(大阪大学大学院)による「SEMによる因果分析入門：パス解析から傾向スコアまで」と、星野崇宏氏(東京大学大学院)による「傾向スコアを用いた準実験及び観察研究からの因果分析について」であった。参加者は130名(正会員(含協賛学会員)52名、学生会員23名、非会員55名)であった(昨年度の参加者は147名)。

#### 10. 統計関連学会との協調について

以下の各委員会に当学会よりそれぞれの委員会の担当理事および特別任務を担当する学会員が出席した。

##### ◎統計関連学会連合

理事会(2006年4月8日、8月4日、9月8日、11月4日、2007年1月6日、3月30日)

Web管理委員会(適宜、メール会議)

##### ◎統計関連学会連合大会

運営委員会(2006年4月8日、7月1日、9月8日、11月4日、2007年1月6日、2月24日)

企画委員会(2006年6月10日、11月11日、2007年3月10日)

Web委員会(適宜、メール会議)

事務局(2006年4月22日、2006年8月26日、2007年3月19日)

##### ◎横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)

定時総会・講演会(2006年4月24日)

第1回横幹連合総合シンポジウム(2006年12月1日～2日)

定時総会・講演会・活動報告会(2007年4月9日)

ロードマップ委員会(2007年1月19日)

##### ◎リスク研究ネットワーク

キックオフ・ワークショップ(2006年8月3日)

債権回収率・LGDモデルシンポジウム(2006年12月13日)

特別セミナー(2007年1月31日)

総会(2007年3月12日)

#### 11. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを常に更新し、学会員への情報公開を円滑にし、また、メーリングリストによる情報公開を行った。なお、マシンの老朽化に伴い、レンタルサーバーへの移転作業も行った。

## 12. 大内賞の推薦

大内賞に広津千尋会員を推薦した。後日、同会員の受賞が決定した。

## 13. その他

他学会との協調を計り、以下の学会等を開催した。

- (a) 日本リモートセンシング学会(2006年11月30日～12月1日)との共同セッション(11月30日)を開催
  - (b) システム制御情報チュートリアル講座2007「実システムを指向したモデリングと制御」を協賛(2007年6月19日～20日)
  - (c) 計量心理学会国際大会(IMPS-2007)を協賛(2007年7月9日～13日)
- その他の事業についてはWebにて公開していますので、そちらを参照下さい。

## II. 2006年度会計報告(2006.4.1～2007.3.31)

### 1. 収入の部

(単位 円)			
勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,717,500	2,592,500	125,000
(1) 正会員	2,570,000	2,450,000	120,000
(2) 学生会員	47,500	42,500	5,000
(3) 賛助会員	100,000	100,000	0
2. 雑誌売上収入	285,600	232,600	53,000
(1) 購読料収入	285,600	222,600	63,000
(2) バックナンバー売上	0	10,000	△ 10,000
3. 広告料	150,000	90,000	60,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	110,100	50,000	60,100
5. シンポジウム収入	941,000	630,000	311,000
(1) シンポジウム収入	533,000	365,000	168,000
(2) チュートリアル収入	408,000	265,000	143,000
6. 関連学会協調事業費	154,836	100,000	54,836
(1) 雑収入(※)	154,836	100,000	54,836
(2) 関連学会協調事業費	0	0	0
7. 雑収入(著作権料など)	74,797	80,000	△ 5,203
当期収入合計	4,433,833	3,775,100	658,733
前期繰越金	4,775,782	4,775,782	0
収入合計	9,209,615	8,550,882	658,733

(※ 1) 連合大会準備金立替

### 会費収入に関する補足

2007年3月31日現在会員608名(2007年3月末で退会予定の15名を含める)

内訳 正会員 584名

学生会員 24名

### 正会員収入内訳

2005年度まで 135,000円(27名) ※ 2002年～2005年度1名, 2003～2005年度1名,  
2004～2005年度3名, 2005年度14名

2006年度 1,290,000円(258名)

2007年度から 1,145,000円(229名)

学生収入内訳

2006年度	30,000円(12名)
2007年度から	17,500円(7名)
会費納入率	89.42%(前年度に納入された1,345,000円を含める)
機関購読数	53件

2. 支出の部

(単位 円)			
勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	2,114,231	2,593,000	△ 478,769
(1)印刷費	1,630,650	2,000,000	△ 369,350
(2)校正費	150,000	180,000	△ 30,000
(3)英文校正費	6,000	13,000	△ 7,000
(4)通信・発送費	327,581	400,000	△ 72,419
2. シンポジウム等関係費	826,643	468,000	358,643
(1)シンポジウム支出	408,928	269,500	139,428
(2)チュートリアル支出	382,015	198,500	183,515
(3)年会支出	35,700	0	35,700
(4)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,642,457	1,650,000	△ 7,543
(1)事務委託費	1,250,000	1,250,000	0
(2)消耗品費	187,744	150,000	37,744
(3)会議費	82,548	100,000	△ 17,452
(4)雑費	99,080	85,000	14,080
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	9,975	50,000	△ 40,025
(7)選挙費	13,110	15,000	△ 1,890
4. 役員旅費補助	37,420	300,000	△ 262,580
5. 関連学会協調事業費	245,966	180,000	65,966
(1)連合大会準備金	0	0	0
(2)関連学会年会費	80,000	80,000	0
(3)連合大会立替払い金	165,966	100,000	65,966
6. 学会賞	47,515	50,000	△ 2,485
当期支出合計	4,914,232	5,241,000	△ 326,768
収支差額(次年度繰越金)	4,295,383	0	4,775,782

※「応用統計学」Vol.34-3, 35-1, 35-2

2007年度への繰越金の内訳

				(単位 円)	
項 目				2006年3月31日現在	2007年3月31日現在
銀	行	預	金	1,831,650	871,304
郵	便	貯	金	257,644	257,655
定	額	貯	金	2,000,000	2,000,000
郵	便	振	替	677,148	1,161,488
現			金	9,340	4,936
合	計			4,775,782	4,295,383


## 会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2006年4月1日より2007年3月31日までの会計経理を監査結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2007年4月17日

監事

三輪 哲 

岩崎 学 

### III. 2007年度事業計画(2007.4.1~2008.3.31)

#### 1. 機関誌の発行

「応用統計学」Vol.36を発行する。

#### 2. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞を授与する。

#### 3. 年会の開催

2007年度年会を2007年5月24日(木)に東京工業大学(大岡山キャンパス)にて開催し、研究発表会、総会、評議員会、および学会賞授与式を行う。

#### 4. チュートリアルセミナーの開催

2007年5月25日(金)に昭和女子大学にて開催し、永田靖氏(早稲田大学)に「多重比較法」について講演いただく。

#### 5. 統計関連学会連合大会でのシンポジウムの開催

2007年度統計関連学会連合大会を2007年9月6日(木)~9日(日)に神戸大学(経済・経営学部本館)にて開催する。応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会が主催し、日本分類学会が協賛する。応用統計学会としては、これをシンポジウムとする。

#### 6. 役員選挙を行う。

#### 7. 必要に応じてその他の研究集会を開催する。

#### 8. 統計関連学会をはじめ、関係学会との協調を促進する。

#### 9. 会員増強に努める。

#### 10. ホームページの充実をはかり、学会員への情報公開を円滑に行う。

#### 11. その他

他学会との協調を計り、以下の学会等の事業を進めると共に、追加で依頼があれば適宜検討し、可能な限り協力する方向で協議する。

##### (a) 日本リモートセンシング学会との共同企画セッションの主催

(2007年9月6日(木)~9日(日), 神戸大学)

##### (b) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)の加盟を継続

- (c) リスク研究ネットワークの加盟を継続
- (d) システム制御情報チュートリアル講座 2007  
「実システムを指向したモデリングと制御」(2007年6月19日~20日)の協賛
- (e) 計量心理学会国際大会(IMPS-2007)(2007年7月9日~13日)の協賛

#### IV. 2007年度予算案(2007.4.1~2008.3.31)

##### 1. 収入の部

勘定科目	(単位 円)		
	2006年度予算	2006年度実績	2007年度予算
1. 会費収入	2,592,500	2,717,500	2,572,500
(1) 正会員	2,450,000	2,570,000	2,425,000
(2) 学生会員	42,500	47,500	47,500
(3) 賛助会員	100,000	100,000	100,000
2. 雑誌売上収入	232,600	285,600	222,600
(1) 購読料収入	222,600	285,600	222,600
(2) バックナンバー売上	10,000	0	0
3. 広告料	90,000	150,000	90,000
4. 別刷り・カラー印刷収入	50,000	110,100	50,000
5. 年会等関係収入	630,000	941,000	675,000
(1) 年会収入	365,000	533,000	270,000
(2) チュートリアル収入	265,000	408,000	405,000
6. 関連学会協調事業費	100,000	154,836	0
7. 雑収入(著作権料など)	80,000	74,797	50,000
当期収入合計	3,775,100	4,433,833	3,660,100
前期繰越金	4,775,782	4,775,782	4,295,383
収入合計	8,550,882	9,209,615	7,955,483

個人会員の会費納入率を85%として

正会員……485名(570名×0.85)×5,000円=2,425,000円

学生会員……19名(21名×0.85)×2,500円=47,500円

賛助会員……5件×20,000円=100,000円

購読料収入……53件×6,000円×0.7(マテマティカ手数料)=222,600円

## 2. 支出の部

(単位 円)

勘定科目	2006年度予算	2006年度実績	2007年度予算
1. 機関誌関係費	2,593,000	2,114,231	2,560,000
(1) 印刷費	2,000,000	1,630,650	2,000,000
(2) 校正費	180,000	150,000	150,000
(3) 英文校正費	13,000	6,000	10,000
(4) 通信・発送費	400,000	327,581	400,000
2. 年会等関係費	468,000	826,643	550,000
(1) 年会支出	269,500	444,628	300,000
(2) チュートリアル支出	198,500	382,015	250,000
(3) 共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,650,000	1,642,457	1,760,000
(1) 事務委託費	1,250,000	1,250,000	1,250,000
(2) 消耗品費	150,000	187,744	150,000
(3) 会議費	100,000	82,548	100,000
(4) 雑費	85,000	99,080	85,000
(5) 名簿作成費	0	0	0
(6) 事務合理化費	50,000	9,975	50,000
(7) 選挙費	15,000	13,110	125,000
4. 役員旅費補助	300,000	37,420	300,000
5. 関連学会協調事業費	180,000	245,966	180,000
(1) 関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2) 連合大会	100,000	165,966	100,000
6. 学会賞	50,000	47,515	50,000
小計	5,241,000	4,914,232	5,400,000
7. 予備費	3,309,882	4,295,383	2,555,483
当期支出合計	8,550,882	9,209,615	7,955,483

- 1. 機関紙関係費 印刷費… 35 巻 3 号未払い分(50 万円), 36 巻 1-3 号の 1 号につき 50 万円として算出
- 5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費…横断型基幹科学技術研究団体連合年会費 5 万円, 統計関連学会連合年会費 3 万円を含む

## V. その他

開催時期について、他学会と重ならないように配慮されたいとの意見があった。